

## 第6回 秘書課

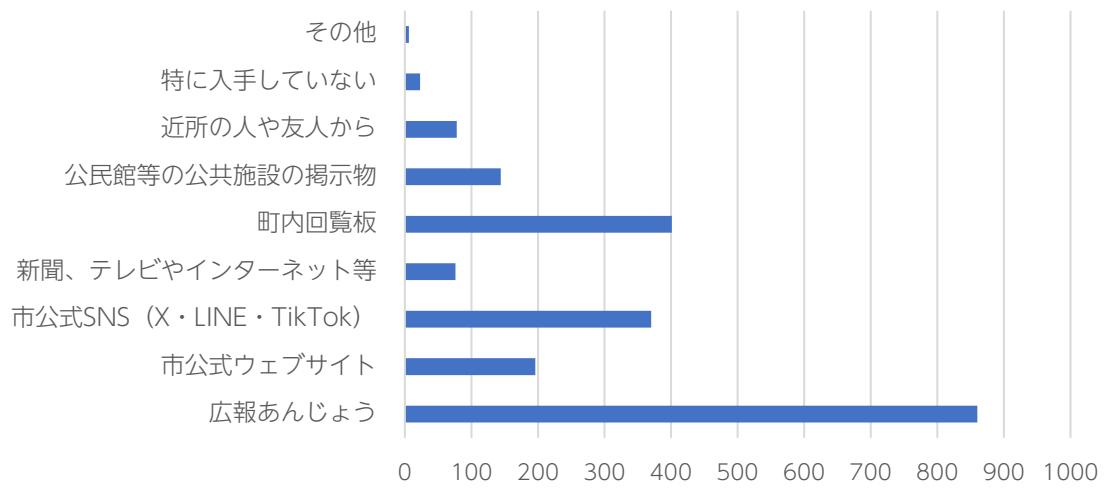
### 「広報広聴事業について」

広報広聴事業について、市民のニーズを把握し、的確な市政情報の発信や、市民からの意見聴取に役立てるためのアンケートです。

実施期間 令和7年10月1日（水）～8日（水）

設問1 市からの情報を、主にどのような媒体で得ていますか。

(複数回答可)



#### 設問1 「その他」内容

家族

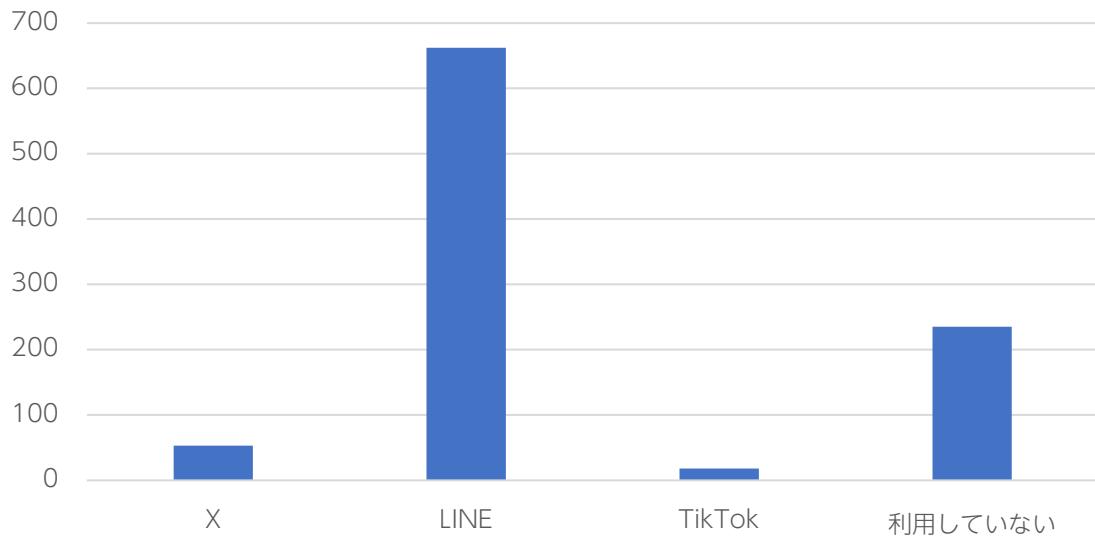
子どもが保育園や小学校でもらってくるチラシ

小学校からの配布物

保育園

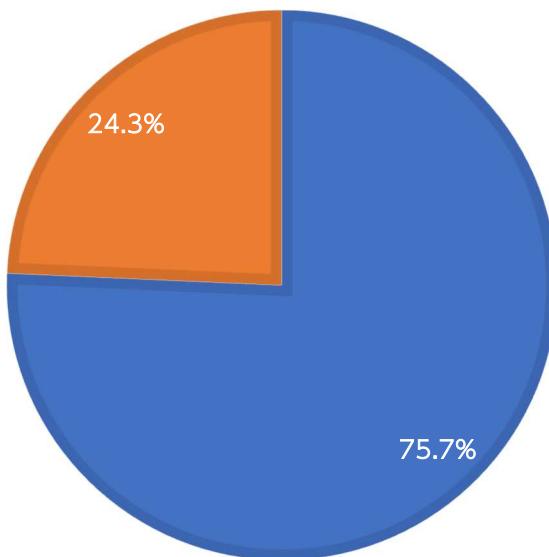
設問2 市公式SNSで利用しているものがあれば教えてください。

(複数回答可)



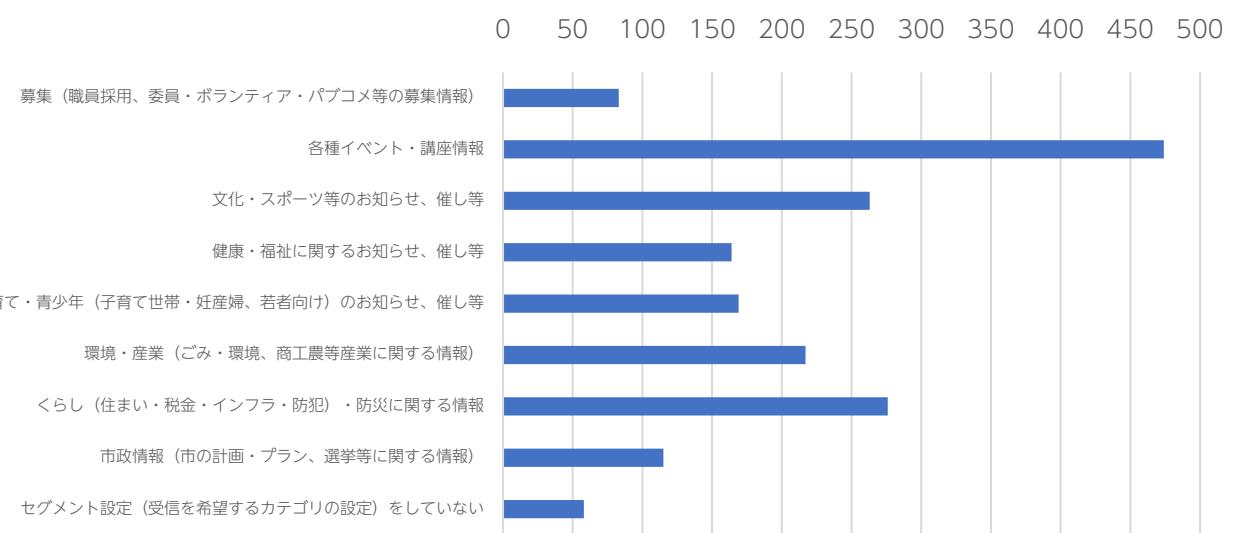
設問3 市公式LINEに登録をしていますか。

■ 登録している (設問4へ) ■ 登録していない (設問5へ)



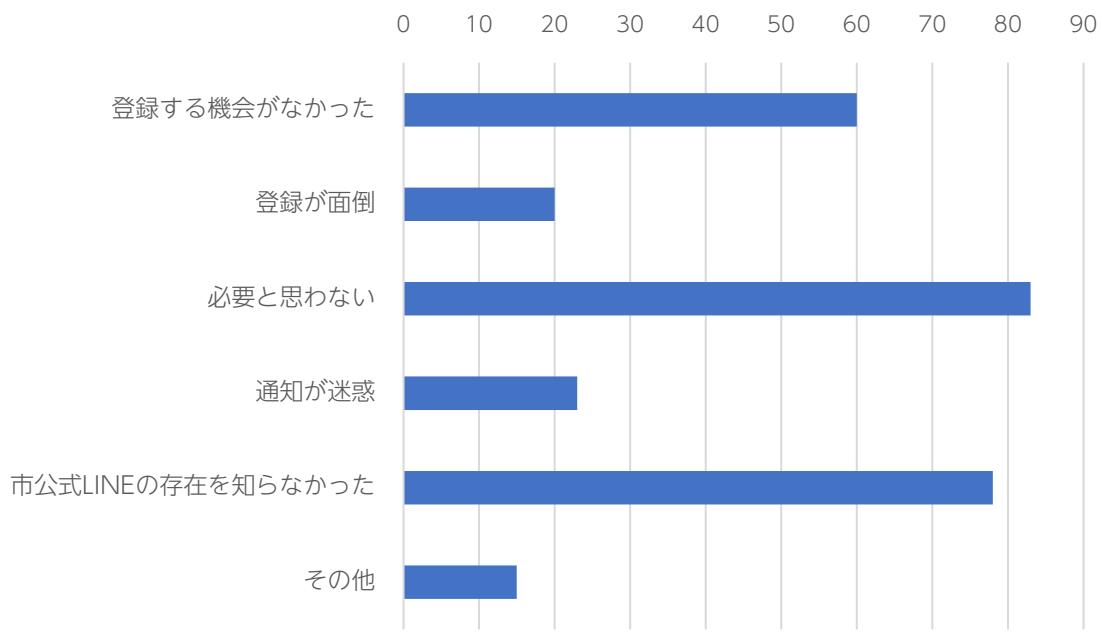
#### 設問4（設問3で「している」を選択した人）

市公式LINEは、どのような情報を得るのに利用していますか。（複数回答可）



#### 設問5（設問3で「していない」を選択した人）

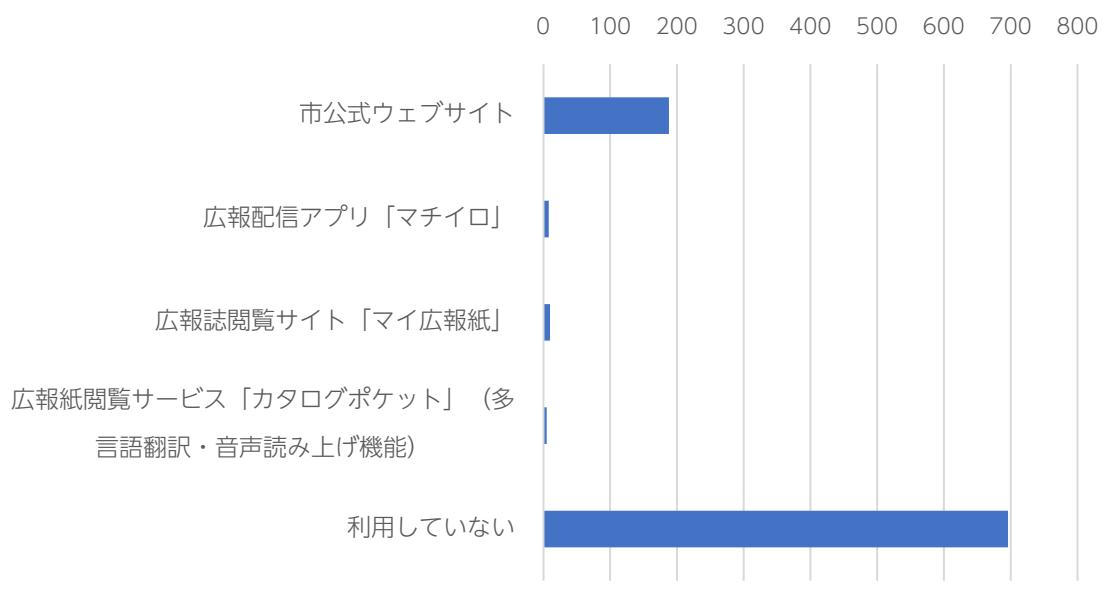
市公式LINEを登録していない理由は何ですか。（複数回答可）



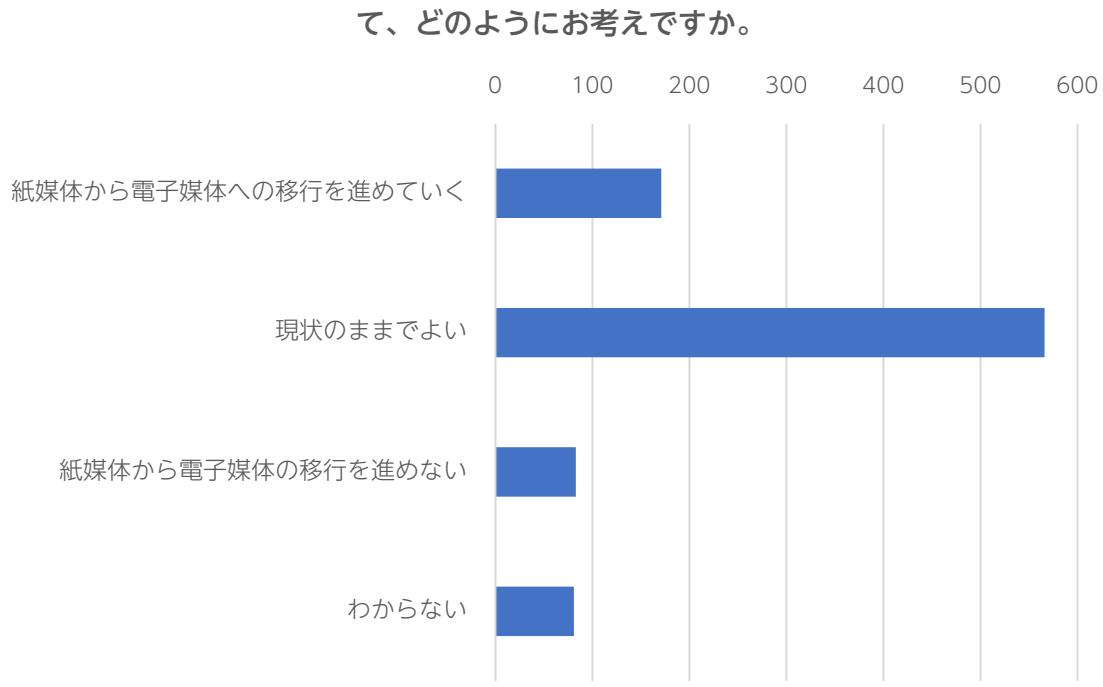
### 設問6（広報あんじょうについて）

広報あんじょうは電子媒体（デジタル版）でも公開しています。

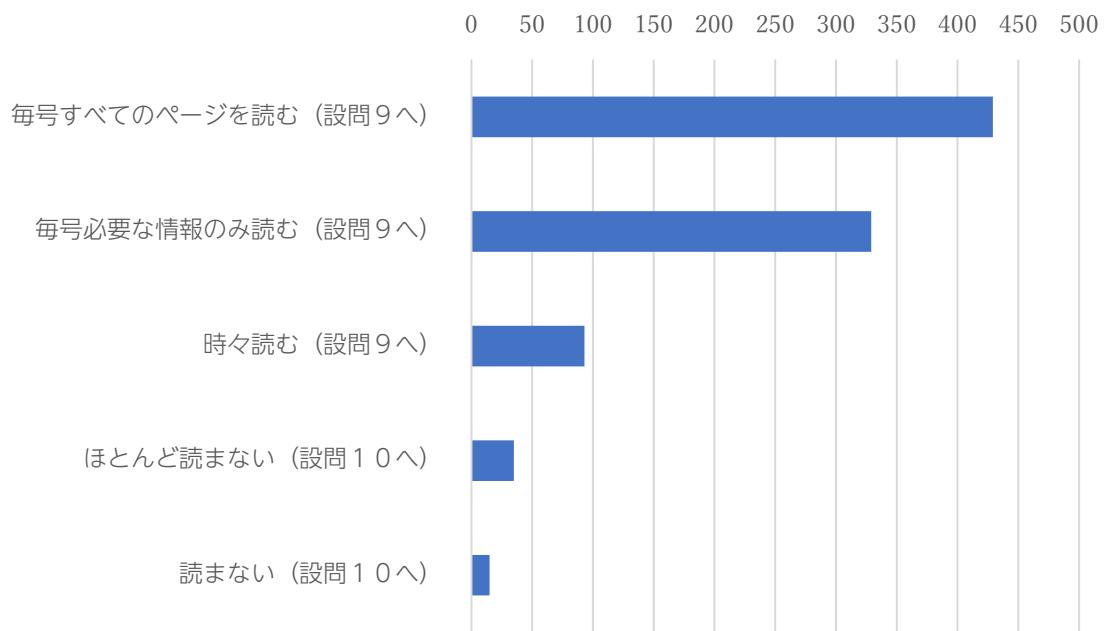
利用しているものはありませんか。（複数回答可）



### 設問7 広報あんじょうの電子媒体（デジタル版）の普及について、どのようにお考えですか。

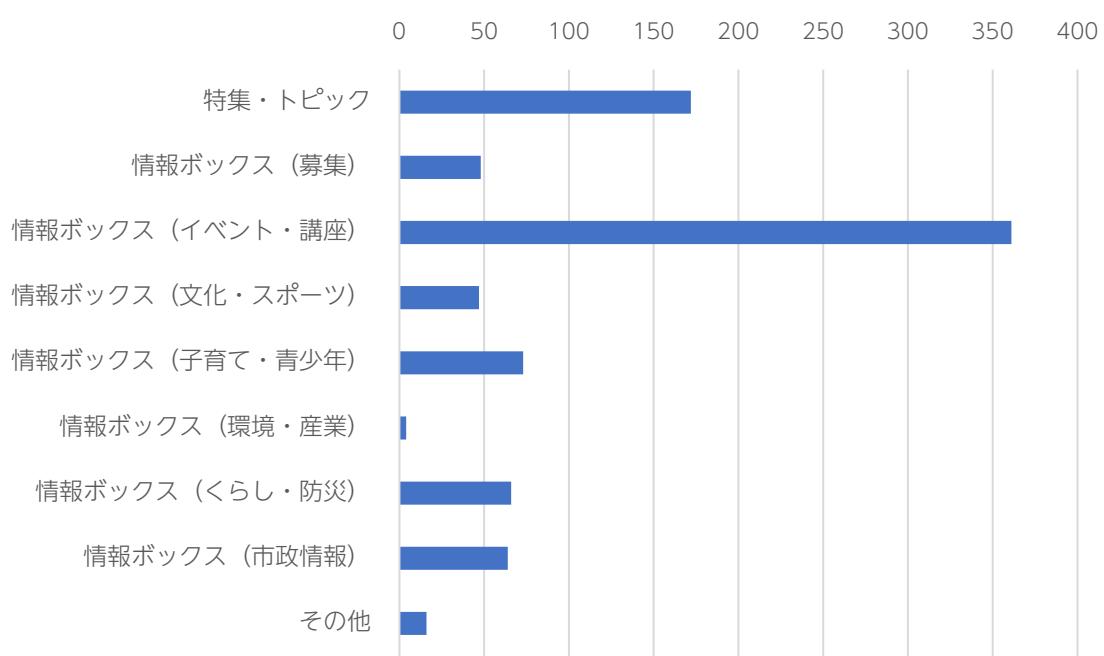


### 設問8 広報あんじょうを読む頻度はどのくらいですか。



### 設問9 (設問8で「読む」と答えた人)

どのページをもっとも読みますか？



### 設問9 「その他」 内容

一通り目を通すので、特に何かに注視しない

特に気にしていない

気になった内容のみ読む

全て均等に目を通します

クーポン

特定のページを決めていない。

いろいろな補助金関連

特に決まってない

どのページも読むので選べない。

目についたもので気になるもの

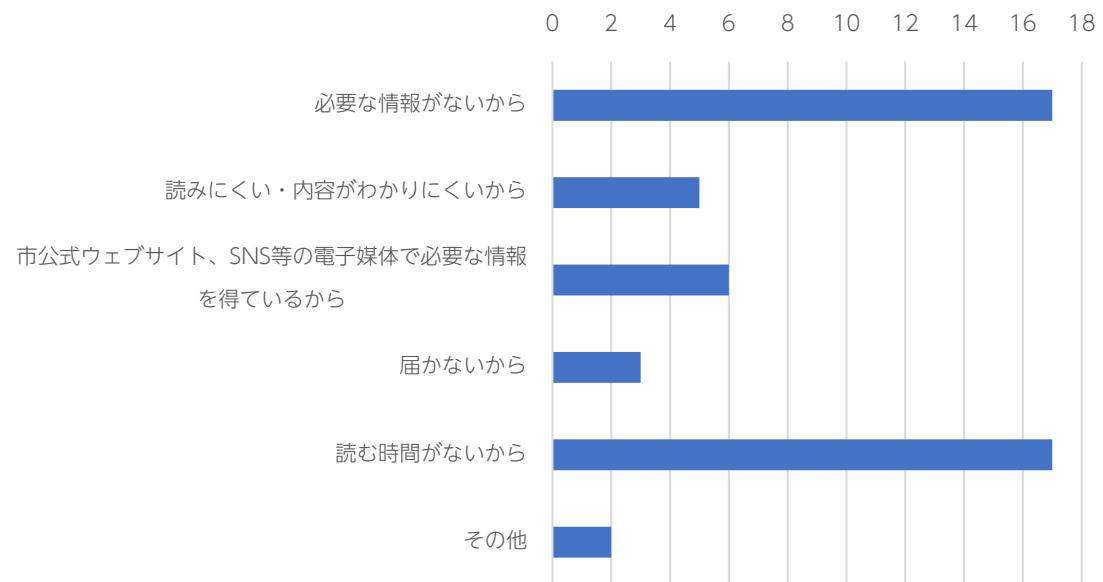
デンパークチケット

都度バラバラです。

福祉

### 設問10 (設問8で「ほとんど読まない」「読まない」と答えた人)

広報あんじょうを読まない理由を教えてください。

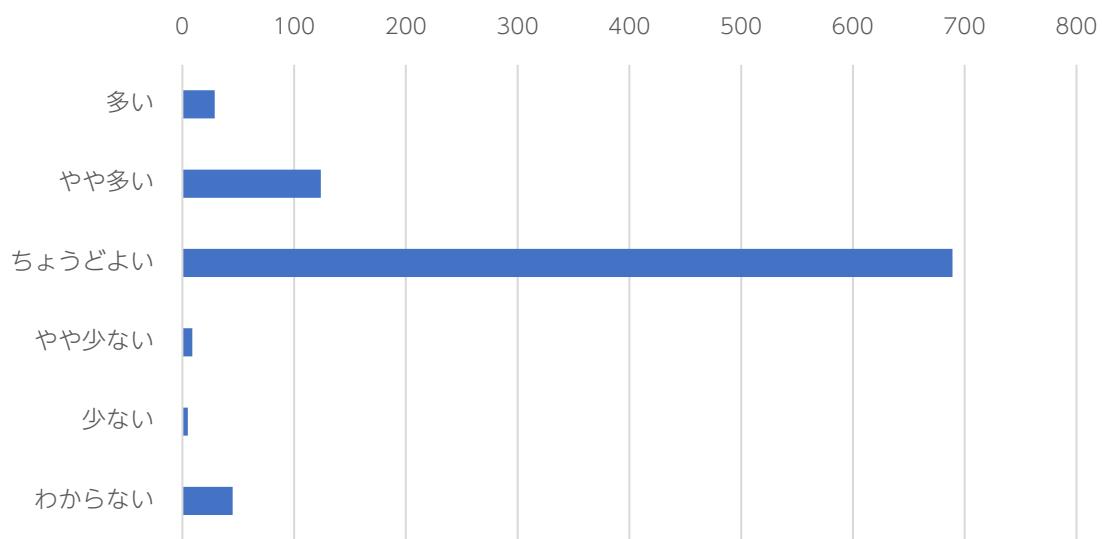


### 設問10 「その他」 内容

必要があれば家族が何か知らせてくるから

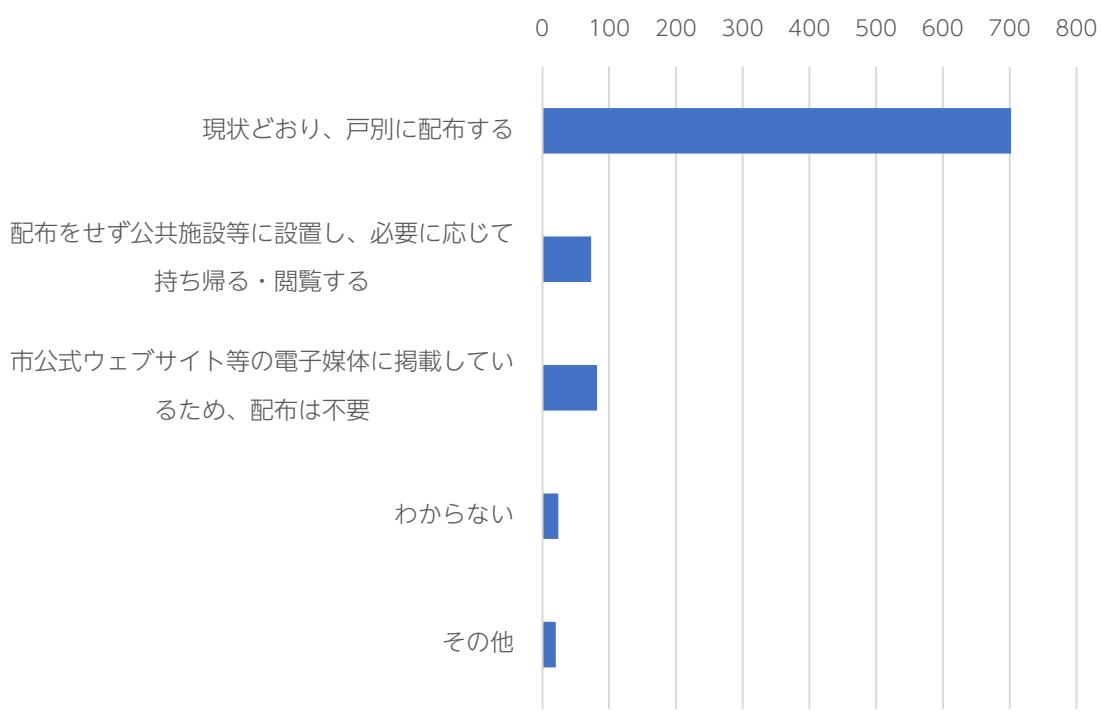
紙媒体は不要。若い単身家庭は読まずに捨てている。ゴミが増えてエコではない。

**設問11 広報あんじょうのページ数についてどう思いますか。**



**設問12 広報あんじょうの配布について、どのようにお考えですか**

か。



## 設問12「その他」内容

配布が必要な人は配布してもらえるように登録する。私はデジタルの方がありがたい。ウチは年に数回配布し忘れられ、アンフォーレでもらったら、広報課に取りにいったりしたから。

配布する人は「広報課に行かれるのは困るので、電話くれたら持っていく」と言う。

4月10月のデンパーク入場券もデジタルの方が良い。たとえ使わなかったとしても、無くなるのは惜しいし、寂しい。とはいえ、1世帯に1冊配布の入場券は、1人1枚若しくは2枚受け取れるのか、家族を代表して1人が受け取るのか、どうなるのでしょうか。

世帯主が高齢者の家庭には広報誌を配布。若者の家庭には市公式ウェブサイト等に電子データを掲載し、デンパーク入場無料入園券はLINEでクーポンとして配布して行く方向で良いと思いますが、広報誌を配達して頂いている方の負担が増えない方法をお願いします。

紙媒体を全世帯に配布するのは読まない人や要らない方もいるので資源が勿体無い気もしますが、私は家に届くので目に留まる、暇な時に読む、という流れなので正直配布されないとわざわざWebに繋いで読む事をしなうなので悩ましい所が本音です。

Webに繋いででも読みたい内容や特典があると良いのでしょうか？

若い世代は電子版に変更しやすいだろうが、高齢の方はやはり紙媒体がいいと思う。

自分も40代ですが、わざわざwebは確認しない。紙で家に届くから見ている。

年寄りや障害のあって取りに行けない人や、所定の場所に取りに行けない人が登録して配つてもらうようにする

希望世帯のみ配布する。電子版利用者には配布しない

発行元である市と市民にメリットがあればどの形でもOK。

将来配布を完全に終了するために、少しずつ電子媒体の認知度を増やしていく。

不要と考える世帯には配布しなくてよいが、希望する世帯には配布してほしい。

自分は紙媒体派です。電子媒体は目的があって見る分にはよいが、定期的に見に行く気にならない。また、電子媒体の場合、飛ばし見がし難いので全部読む気にならない。

電子媒体でざっとでも全部目を通してる人はどのくらいいるんだろう。

安城市として、基本的には見なくてOKというつもりで作成してるならそれでもいいかもしれないですが。

町内会の回覧板に付けて、各戸が必要部数取ればよい。

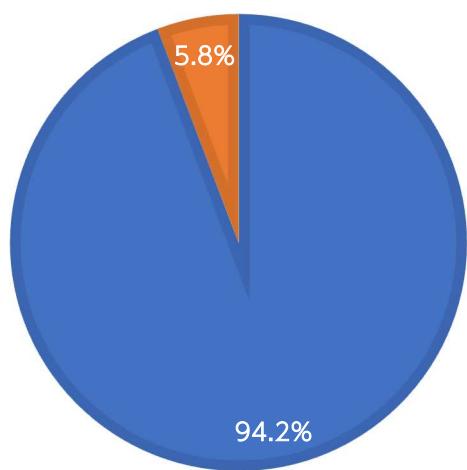
環境面の配慮と、経費削減両方の観点から、デジタルで見る方には、配布中止し、希望世帯のみ配布が良いとおもいます。できることから、少しでも、進めて、若い世代につなげてほしいです（若い世代は、デジタルで問題ないはず）

戸別配布をやめてもいいが、デンパークチケットの世帯配布対策はしてほしい。

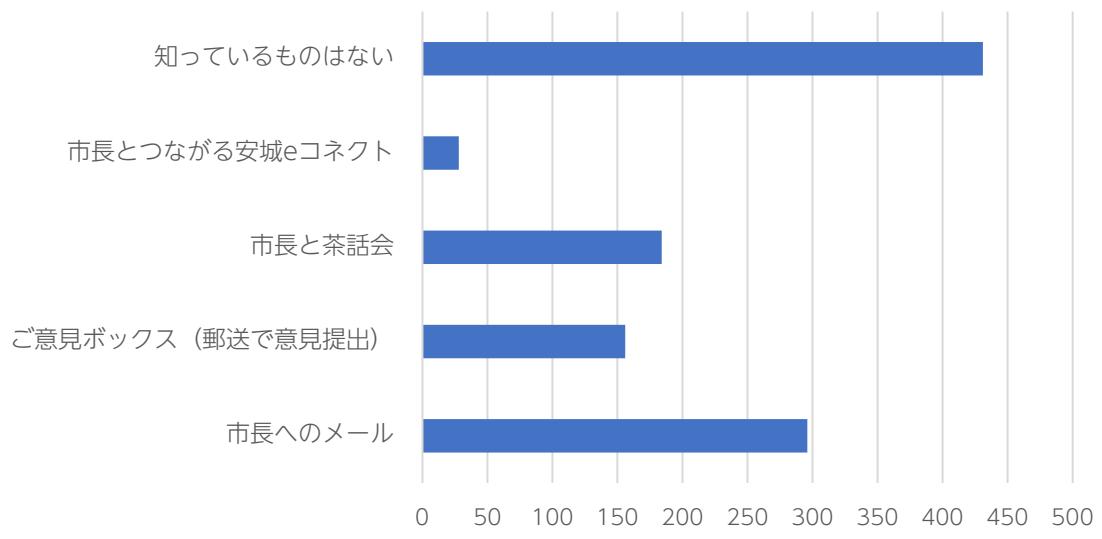
戸別配布はもったいないと以前から感じていたので、配布を希望しない人はインターネット等で知らせれば配布希望者と区別できるのではと思う。配布を希望する人もいると思うので（ネットを使用しない人等）、配布を全て止めるのは極端な気がする。

設問13 現状の「広報あんじょう」に満足していますか。

■満足している ■満足していない



設問14 市民から意見を聞く「広聴事業」について知っているものはどれですか。 (複数回答可)



設問15 広報広聴事業について（自由記述）

広報あんじょう、毎月楽しみです。いつもありがとうございます。

私の周りには広報を読まずに捨ててしまう人が結構いるため、資源の無駄になってしまふので、全戸への配布は不要だと思う。公民館のイベントで広報に載っているものと載っていないものの違いは何でしょうか？最寄りの公民館以外は掲示板をチェックするのは大変なので、より多くのイベントが広報に載るとうれしい。

園開放の情報が各園のHPを確認しないとわからず調べるのが大変。まとめて見られるページや、年度始めに広報に年間スケジュールが載ったりするとうれしい。未就園児向けに楽しいイベントを行って下さっているのに、参加者が在園児の弟妹ばかりなのはもったいない。園開放自体を知らない人が多いのでは。各園に任せただけではなく、市がもう少し広報してほしい。児童センターのイベントカレンダーについて、イベント名をクリックすると、その児童センターのページ（もしくはその月の児童センターだより）にとべるとさらに便利になると思う。

今回の広報安城とは本誌のみの問い合わせですか？本来ならそうと思われますがここ1、2年前からだと思いますが社協だよりや議会だよりが同封されて来ます。以前の様に別々に来ればチョットでも読もうか？と思いますがあんなに沢山ですと忙しさから読むきになれません。経費の問題もありますがもう少し町内会を活用して社協だよりなど薄い物は回覧板で配って貰うとかされたら如何ですか？

広報あんじょう、毎号読んでいます。内容も充実していて、とても良いと思います。カラーで見やすいし、今月はデンパークの入園券がついていて、嬉しかったです。

e-モニターアンケートも広報で知りましたし、以前、キーボーのLINEスタンプも広報で知ってダウンロードしました。これからも盛りだくさんの内容で読み応えのある広報を期待しています！

お返事をいただくほどでもないちょっとした匿名での意見を出せる仕組みがあると良い（あったらすみません）

YouTubeを活用した発信をしておられますか？もし、しているなら、PRが少ないと思います。していないなら、YouTubeの活用を考えたら良いと思います。

全てを電子化せずに紙媒体は残して欲しいです。

紙媒体の方が、文字のフォントが大きくまた、過去の物も含め繰り返し読む事ができると思います。電子化した物は、なかなか繰り返し読まないと思います。

電子媒体の広報あんじょうがあるのは知りませんでした、学校からの配信アプリなどからも読めるようになるとたくさん的人が読むようになるかもしれません。

毎月広報を作つて配布してくださりありがとうございます。私は今まで充分満足しております。

妻が広報を隅々読んで、知つといた方がよい箇所に付箋を貼つておいてくれる。

忙しくて時間がないので、紙だと後でチラッと見れる。電子になったら情報に埋もれてしまう。紙の広報のままがよい。

安城市の環境事業は優れていると思います。例えば、公園のトイレの清掃は行き届いており、他の市町村に比べてかなり優位です。意見があるとすれば、道路の植木です。特に高木の場合、葉の茂る季節は、交通の妨げのなるので、葉を刈る時期を適切にすると良い。そういう季節が来たら現地現物で確認すべきです。安全安心な環境作りの為にも、決して業者任せにはしない事です。安城市に限つて、そういう事は無いと思いますが念の為。

広報あんじょうは分かりやすいのでよく読める冊子だと思う。

なんでも電子媒体にすれば良いという考え方の無いデジタル化は反対。誰に情報をとどけるのか、そのためのベストな対象を考えて欲しい。防災ラジオはとても良いので普及させて欲しい。情報発信媒体は、複数で漏れなく提供してください。
庁内回覧板は回覧を滞らせる非常識な人の為に行事に間に合わないことが生じている。回覧板情報と同等の情報が市のWEB等で町ごとに回覧板の紙ベースの情報と並行して開示されると助かる。
安城市がもっと住みやすい地域にするために、広聴事業をもっとアピールしても良いと思う。
一般の人が意見を広報誌や市にメールするのは少ないといます。 事業としての広い本音の意見を聞くためには、小さな町内会の区レベルで意見を聞いて貰って集めるなど、母数を増やす必要があると思います。インターネットによって、さまざまな意見が飛び交っていますが、匿名では良し悪しがあると思いますので、偏りのない広聴を進めて欲しいと思います。
最近は広報あんじょうに限らず、どの広報誌や機関誌も紙媒体から電子媒体に移行している傾向が強い。紙を使わなければゴミを削減できるので地球環境に優しいし、配達する手間も省けるので便利である。しかし、全ての人がスマホやパソコンを持っているわけではなく、インターネットを利用できない人もいるので、紙媒体を完全に無くしてしまうのは問題である。それに、インターネットを利用できても紙媒体の情報誌を読みたい人もいるので、今まで通り電子媒体と併用していくべきだと思います。昔は毎月1日と15日の2回発行していたが、それでは多過ぎると思っていたので、現状の月1回で良い。私も月1回の広報あんじょうを毎回楽しみにしている。
最終ページにいろいろな相談項目や制限人数などが記載されているが具体的にどのような相談ができるのか例なども記載してもらえるとありがたい
何でもかんでも、紙媒体から、電子媒体にすれば良いとは思えません。 電子媒体の不具合、また災害時など、トラブルがあった時、紙媒体も必要だと思います。 また、個々に配布というのも、安心安全確認も兼ねて居ると思います。人付き合いが減る中、個々に配布は、必要だと思っています。 全て、電子媒体にはしないで欲しいです。
電子化時代であり、広報も電子化すれば経費節約、情報伝達の迅速化等のメリットは計り知れない。しかし私は直に80に手が届く年齢で、50年以上前からパソコンを触っており、年齢からしたら、デジタル化に付いている方だと思うが、老眼で小さい文字は読めない。ましてやスマホなど論外で大きなパソコン画面でやっと分かる程度。年の近い知人はパソコンと聞いただけで拒否感がある。デジタルデバイドというが、電子化すれば、付いてこれない高齢者が沢山おり、彼らの救済策が不可欠とおもいます。
市民が気軽に意見を言える場は大切だと思う。ただ個別の近所トラブルのようなものが多くなると対応する職員の負荷も多くなると思うので、個別案件は直接各部署に相談するように明記して良いと思う。
広報あんじょうに載っている子供向けイベントは子供が喜ぶものが多いので毎月楽しみにしています。広報が電子媒体でも読めることは知っているのですが、電子媒体のみになってしまふと情報が更新されるのに気づかず読まなくなってしまいなので、今後も紙媒体で各世帯配布を続けていただきたいなと思います。
大変だとおもいますが、広報はほしいです。やっぱり毎号欠かさず見るのは配布のおかげだと思います

震災対策などを含めた市作りの活動を一貫して掲載して欲しい

紙媒体の広報は、いつでも手元において確認できるのでありがたい。私は公民館で表紙をいただき1年間綴っています。いったん流された情報の再確認が容易で助かります。

IT化が進む現代ですが、紙媒体にはこのような良さがあるので簡単に割愛を考えないでほしい。

SNSを活用しているところはとても良いと思っています。徐々に紙の使用を減らしていくって欲しいです。

広報誌の配布は毎月末になっているのですが、そのために毎年8月初頭に開催される七夕祭りのチラシが直前に届く事になるので少し不便に思っています。企画内容や交通規制など、事前に確認したい内容が多いので、もう少し早くに手元に届いてほしいです。広報誌の配布日程の見直し等検討してほしいです。

広報あんじょうは内容も充実しており毎月読んでいます。デンパークの無料券の他にも似たような物があると、若い世代も興味を持たれるのでは…と思います。

子どもが通っている2園の配布物も電子媒体になり、読むが記憶に残りにくく、読み落としがあったりと不便さを感じる。講座や園の申し込みなどはネットの方がありがたいが、経費の削減にはなるのはわかるけれど、広報は紙の方が見やすく感じます

以前紙媒体でデンパークのチケットがついている号の配布を忘れられて、取りに行くことがあった。

配布漏れや人件費削減、サステイナブルにもなるのでデンパークのチケット含めて電子化した方が良いと思います。

自治体がLINEを利用する、市民に利用させることに反対です。

市長への手紙がHPに公開されているのを時々読みますが、ほとんどがまともに取り合わずにスルーしているように感じます。

現状のままではこのような問題があると言う意見に対し、現状の仕組みについて説明するだけのような印象です。このような姿勢では意味がないと思うので市民の声として市議で取り上げていただけませんか。

いつもありがとうございます。知立市に住んでいたときは、広報はデザインの感じからして全く読む気にならなかつたのですが、安城市の広報は読みやすく良い情報収集ができるため、安城市に引っ越ししてからは毎号全て読むようになりました。お金がかかっているのかもしれないですが、カラー印刷というのも読みやすさの一因だと思います。デンパーク入場券と裏表紙の公演情報ありがとうございます。これからも楽しみにしています。

デンパークの入園券が入るのが嬉しい。ただこちらも電子で配布が可能になれば戸別投函でなくてもいいのではないかと思います。

町内の回覧板に全く意味がなくなっていると感じています。広報あんじょうが各世帯に配布されるので、必要情報は得られている。広報は、町内会に入っていない家庭が多くなっているので必要はあると思います。

電子化が進んでいる世の中ですが、広報を電子になった場合、私は見ることがなくなります。紙媒体で経費は掛かると思いますが、強制的に送られてくる資料は、目を通しやすいです。電子の欠点は、自分から情報を取りに行かなければ行けないところ、好きなものや興味の有るものしか手を出さなくなります。

市に関する情報について、主体的に情報を取りに行かないし、そうする必要性も感じないので、自宅に広報誌が届くぐらいがちょうど良い。ただ、議会の情報はもうちょっとしっかり見せてほしい。

市の公式 SNS があるので、（私は特に LINE）気軽に情報収集がでてたいへん良いと思います。

市の魅力や、市の出来事をもっとトピック好きとして発信してほしい。

また、市に必要なものを募集するランクなどをつけてほしい。たとえば、QR コードをつけ、よんでも意見したい時にその場で携帯で投意見投函しやすくするとか。

安城市は子育て事業に力を入れているが、その恩恵を知らない人が市民問わずとても多いと思います。広報や、若い人にもっと知ってもらう為にも、ららぽーとなどでもっとアピールした方がいいと思います。また、子育てのアピールには、柔らかいパステルカラーの様な若い人が目を引く色使いの方がもっといいのではと思います。

安城市に引っ越してきて、カラー印刷の広報誌はこんなにも読みやすいのかと感心しました。お金はかかっているかと思いますが、配布方法が変更になり発行部数が少なくなったとしても、是非継続していただきたいです。

それぞれの公民館で行われている講座が一覧になって広報で分かると有難いのではないかと思う。その公民館にいかないと、こんな講座があるんだと分からぬ。いろいろな公民館で気になる講座が色々やられているので、それが分かつたら場所が少し遠かったとしても行きたいと思う人がいると思う。

困った時の相談窓口をもっと明確にしてほしい。

今の高齢者は SNS にあまり馴染みがない人も多いと思うので、当面は SNS 以外の媒体も併用していくべきだと思う。

安城市の情報をまとめてのせて頂きその時期にあった物はしっかり目を通しています。

字が小さいとしっかり読まない時もあるので、知り得た方が良い情報は活字を大きくしていただくと読みやすいかと。

広報誌は従前の月 2 回に戻すべき。ウェブサイトが見られない人間に対する配慮は必要不可欠。あと、ウェブサイトの情報掲示が遅い。また、必要な情報に限って、見づらい状況をわざと作っている。（階層が深すぎる、若しくはわかりにくくようにわざとしている。）特に e モニターアンケート結果については、その他意見をすべて掲載していないし、反対意見をほぼ抹殺している。自分の意見（すべて反対意見）が全く掲載されていないことから見て明白である。多分、この意見も掲載されないであろう。若しくは、改竄されるであろう。結局、この制度も安城市的自己満足のためと化している。そのようなことがないようにしてくれ！！

広報あんじょうは月に 2 回から 1 回になったことで、情報量が多すぎて、全部読まなくなってしまった。毎日忙しく紙媒体のものを読むのは大変です。

広報あんじょうは大変読みやすく、公民館の講座案内、歴史博物館のイベント案内、求人情報など多く利用しています。ありがとうございます。

Facebook と市広報で市長の発信を拝見していますが、積極的な発信が少なく、受け身の姿勢にお見受けします。現状を変えようとする姿勢が見えません。イベントに参加した風景や、表敬訪問を受けた様子を SNS で拝見しますが、政治家としての PR に過ぎず、もっと市政の課題や議会で議論となった論点を自らの目線で語りかけてほしいと思います。

今現在、必要な情報は得られているので、広報あんじょうで得られている。

高齢になるにつれネットは読みにくく、紙媒体をなくさないでほしいです。

市長に直接意見を聞いていただけるのは素晴らしいと思います。

町内会の回覧板を電子化すべく市も働きかけて欲しい。各戸順番に回覧は余りにも非効率。確実に伝達すべき情報は一斉配信しなければタイムラグが発生するし、そうでない情報は全戸に伝える必要はなくユーザー側が受け取る情報のジャンルを選択出来るようになるとありがたい。各所で電子化が進み相対的に郵便が減少する中、毎日回覧板の為に郵便受けをチェックしている。
内容が充実しており、今後もお願いしたいと思います。 広報あんじょうのWEB開催については、使用する端末の表示画面が小さいため、拡大表示を多用することから、使い勝手が良くないと感じています。
毎月必ず読んでいます。あんてななど、地域の活動にいつか参加したいです。表紙にも載ってみたいです。
やはり、市民の声を直接聞く機会をつくることは大切だと思う。安城市は住みよいとこだと他市の方からも言われるのでこれからも子育てにやさしい、高齢者にやさしい安城市でいれるように、市民の声をきいて、改善していってほしいと思う
一般だけでなく若年層、高齢者双方の状況把握とそれに応じた情報発信をきめ細かく進めていただきたい。例えば一つの事業についての広報活動ひとつをとっても、考えられる限りの手段、方法を駆使して可能な限り多くの市民に行きわたるようにすることが大事だと思います。
毎号楽しみにしています。特にサークル募集の項目が好きです。
ネット媒体もあってもいいけど、ペラペラゆっくり紙媒体で見たい。また、紙だと必要ページを破って、貼れるので、紙媒体を家に届けてほしい。
広報の発行だけでなく、LINEなどで広く情報を発信し続ける事が重要だと思います。eモニターなどによりアンケートを取るだけでも市の活動を知る機会になると思います。
年齢的なこともあります。紙媒体の方が読みやすいです。デジタルにすると読みたいところだけ見てしまうと思います。紙であれば全体的に読むことができ、思いがけない記事に出会うことがあります。
広聴事業自体を知らなかったので、具体的にどのようなもので、どうやって意見を言えるのかわかるようなものを作ってほしい。
意見をいっても、返信がなければ、言わなくなるとおもう。
市長へのメールができ、困りごとを書いたらすぐに返信してくださったと聞きました。とても感動しました。
穴あきで配布されているけど閉じて保管することはないし、何かに使えるので穴は開けないで欲しい。 あと、リサイクルリユース活動をもっと活発に毎回のるくらい充実させてほしい。たまにしかのっていなく残念に思います。
環境のために広報を電子化もいいと思っていますが、私は必要な情報にマーキングしたりして紙でじっくり見られてありがとうございます。配布してくださる方にも感謝です！
9月末で廃止となった安全防災メール必要な人もいます。何でもアプリ反対です。機器を持てない人はどうするの.....

電子版の広報あんじょうがデータが重いのか、なかなか開かない。紙媒体より早く閲覧できるのに開くのに時間がかかるため、結局、紙媒体で読んでしまう。
スマホだと画面が小さすぎて電子版は読みづらい。でもコストを考えると電子版がいいとおもう。情報が多すぎて最後の方はパラパラとしか読まなくなる。社協だよりなど別々にしてもらいたい。
LINE の送付回数は一日に上限2回で良いのではないかと思う
高齢者には、紙媒体が必要かと思います。 わたしでもネットまで見に行って読みません。届いたから読むって感じです。広報に載ってなくて知りたいことがあるときは、ネットで市役所のページにアクセスします。
必要な世帯かどうか調査できるのであれば、したほうが、資源削減にはなるかと思います。調査するほうが大変かもしれません、電子媒体で希望しますって人からはウェブで申請してもらうとか。あと、広報を閉じる分厚めのファイルがあると思いますが、読んだら資源回収に出します。そのファイルに閉じることは、うちはありません。そして電子媒体でも広報が見れることを恥ずかしながら、知りませんでした。
広報あんじょうは、月に1回へ変更してまだそれほど時間がたっていないのでもうしばらくこの形態で続けてほしいです
今後も意見を伝える手段をなくさないでいて欲しいです。
何れは電子化させないといけないと感じている。回覧板に広報あんじょうのQRコードを掲載したり、回覧板でQRコードのマグネットを配布して、気づいたときに広報へアクセスできるようにする手段等がよいと思う。
町内会の役員をしているが、市から町内会へのお願いばかりで、後継者不足や町内会活動に無関心な町民が多く、低迷し町内会活動を活発化するための市からの広報活動がもっと必要だと思う。
もっとリアルタイムな意見、要望を受け付けられるツールを導入。LINE でも良いとは思うが、写真アップなども出来る。
町内会任せ切りは時代に合わない。道路など公共物の破損、危険を市民が送る。要望的に信号機、横断歩道、ゴミステーション、河川整備など、挙げだしたらきりがないけど。
私自身もそうですが、広聴事業の存在自体、市民にあまり知られていないと思います。もっと広く広聴事業というものを、行なっているという事を知らせないと、市民からの意見を聞き入れる意思がないように思われてしまいそうな気がします。あと、余談ですが、「広報あんじょう」、ページ数が増えて厚くなっています。ページを減らせとは言いませんが、ほぼフルカラーで印刷されています。そこまでする必要はないと思います…コスト的に。結構な量が見られずに捨てられていますので…。
お年寄りには電子はハードルが高いかもしれません、いつもリサイクルに出す時に無駄が多いような気もします。LINE で燃えないゴミ等、教えてくれるのが助かります。
電子版はいつも重い。（通信環境は問題ない）LINE からのカタログポケットは読み込み中から進まず毎号断念する。
以前は、月2回配布だったものが、月1回になり、不便かな?とも思っていたが、今は慣れてきて、まとめて情報が得られるので、かえってよかったですかなと思います。紙媒体があると、読み返しがしやすいし、興味あるもののチェックがしやすいので、時代に反しているかもしれません、残してくださると有り難いなと思います。

<p>以前は2回配布が今は月1、しかも公民館講座も詳細は配布されなくなりました。普段公民館には行かないで、公民館講座内容もわからないです。もうすっかり公民館講座にも参加しなくなりました。</p> <p>市民講座を主催したこともありましたが、周知が弱体化している為、集客に苦労しました。</p> <p>誰もがオンラインに明るいわけではないので、情報弱者を出さないように紙媒体は大事にして欲しいです。紙を無くすエコが情報が欲しい市民を排除していくは本末転倒ではないでしょうか。</p>
<p>私は広報が届いたタイミングで読むので、今まで通り、紙媒体での配布があります。しかし、広報の配布不要という世帯もあると思うので、経費削減や環境への配慮から、紙媒体不要世帯の申出を受け付けても良いと思います。その際に、安城市市内で使える商品券などを渡せば、一定数の申請はあると思います。ただ、広報が不要でも市政情報がその人に届かなくなるのはまずいので、安城市公式LINE等の登録を必須にし、そこからのみ紙媒体不要申請ができるようにすれば良いと思います。</p>
<p>広報誌のデジタル化はメリットが多いと思いますがデメリットも存在します。PDFで読みづらい、見る人のニーズと記事のミスマッチ等、改善を繰り返し広報誌のレベルアップを時間をかけて進めて欲しい。</p>
<p>プレゼント企画等もやって欲しい</p>
<p>広報につくデンパーク入園券、とっても嬉しいです。回収率を見るとあんまりよくない印象を受けたことがあります…勿体無い。前期のデンパーク券が9月で終わるが、9月は敬老チケットもつくので、期間がずれてくれるといいのに、と思う。特に前期は暑くて行く機会が減るので、10月までにしてほしいと思う。←現状、後期配布ではハロウィン、クリスマス、バレンタイン、春、と見どころいっぱいなので。</p>
<p>電子媒体は時代の流れだと思います。</p>
<p>紙媒体の良いところもあり出来る限り続けて頂きたいです。あとで読み返す、確認する、紙媒体での良さも沢山あります。</p>
<p>職員の皆様の御負担になると思いますが現状維持をお願いしたいです。</p>
<p>広報を読むたびに、きちんと市民の声が届いていて、市民のために良くしてくれていることが伝わってきます。すごく良いです。</p>